

サブドレンNo.16ピットの今後の対応について

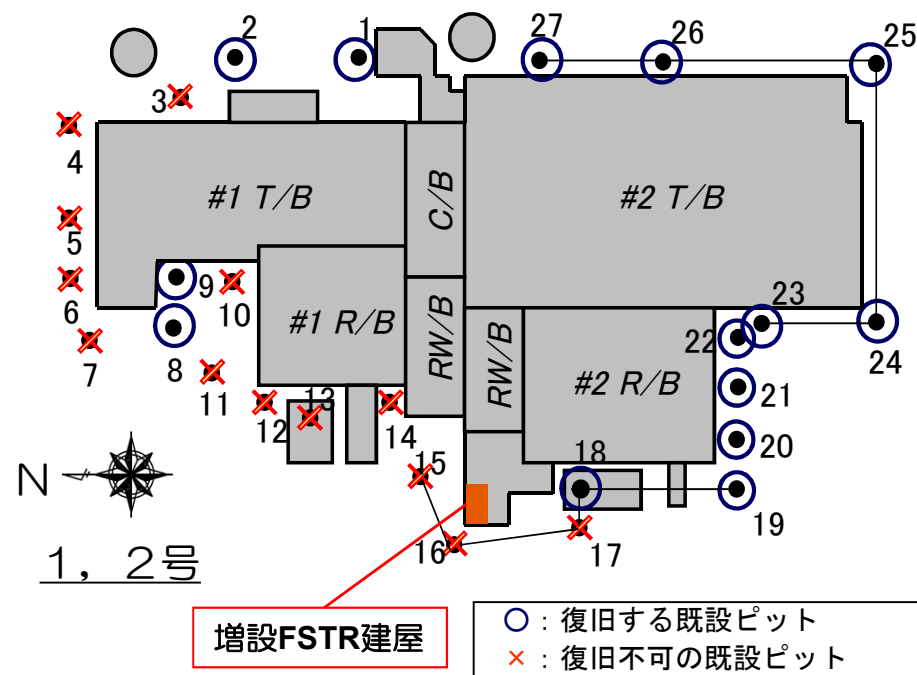
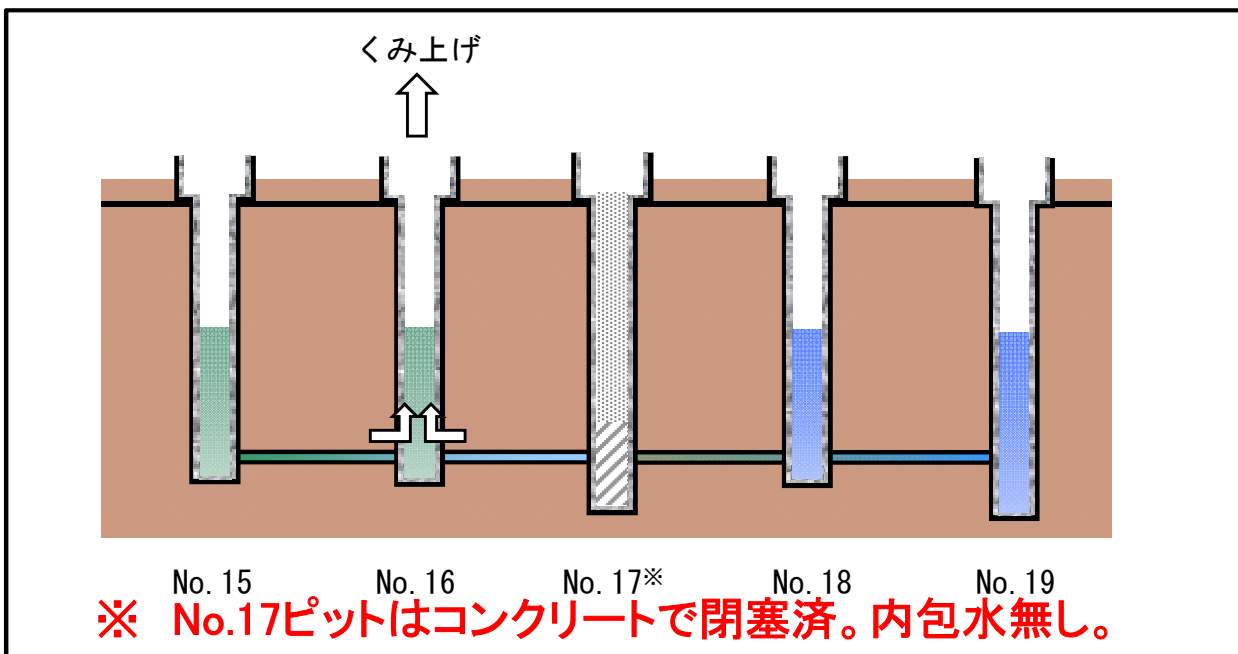
2015年8月25日
東京電力株式会社



東京電力

サブドレンNo.16ピットの汲み上げ

- 2号機西側No.18, No.19ピットにおいて、セシウム及び全βの濃度が上昇していることを確認。
- No.18, No.19ピットは、瓦礫混入等で復旧が困難であったNo.15, No.16, No.17ピットとピット底部で横引き管で連結しており、No.18, No.19ピットのポンプ稼働により、No.15, No.16, No.17ピットから放射性物質を引き込んだことが要因と考えられる。
- 比較的放射性物質濃度の低いNo.17ピットに充填材を投入し閉塞することにより、未復旧ピット（No.15, No.16）と復旧ピット（No.18, No.19）を分断した。
- No.16ピット近傍の増設FSTR建屋の水位を低下させることができたことから、2015/5/22～24にNo.16ピットから汚染した地下水を汲み上げ（約20m³）。ピット内の水質が改善することを確認した。
- その後、ピット内の放射能濃度を更に低減させるため、監視強化（水位計設置）、移送配管の信頼性向上を実施の上、7/14～21に約50m³、7/28～29に約20m³の汲み上げを実施。



No.16ピット水質の変化及び今後の対応方針(案)

(Bq/L)

		1回目汲み上げ後 (2015.5.22~24)	2回目汲み上げ後 (2015.7.14~21)	3回目汲み上げ後 (2015.7.28~29)
採水日	2014.10.29	2015.5.25	2015.7.22	2015.7.29
Cs-134	850,000	83,000	150,000	140,000
Cs-137	2,900,000	340,000	630,000	640,000
全β	3,200,000	390,000	770,000	710,000
H-3	84,000	4,100	6,000	5,000

- 3回目汲み上げ後の放射能濃度は、当初（昨年10月）に比べて十分低いものの、1回目汲み上げ後（2015年5月）に比べて上昇し、2回目汲み上げ後とほぼ同程度であった。
- 放射能濃度の変化が無いのは瓦礫等の影響と思われるが、今後は、被ばく線量低減の観点から、月1回程度溜まり水の汲み上げを行い、水質の変化を確認していく。